

# 第23回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成23年2月

応募者名: 広島県都市整備課

事業の名称: 都市計画道路 松永港本郷線

実施都市名: 広島県福山市

## 事業目的

本路線は、福山市松永地区を南北に貫き、重要港湾尾道糸崎港(松永湾)から国道2号松永道路を經由して山陽自動車道福山西ICへアクセスする幹線街路で、ボトルネック踏切であるJR山陽本線松永西踏切において、踏切遮断による交通渋滞により都市機能が著しく阻害されていた。このため、鉄道と立体交差化(オーバー)して踏切を除却し、分断された松永地区内相互の連絡を強化すると共に、交通の円滑化を図る。

## 事業概要

事業名称 : 街路事業

路線名 : 都市計画道路 松永港本郷線

事業箇所 : 広島県福山市松永町～今津町

事業延長 : 1,000m

改良後幅員 : 26m～44m

(車道3.25m×4, 歩道3.50m×2)

(改良前幅員 : 5m(車道4m, 歩道なし))

事業費 : 131億円

事業実施期間 : 平成7年度～平成21年度

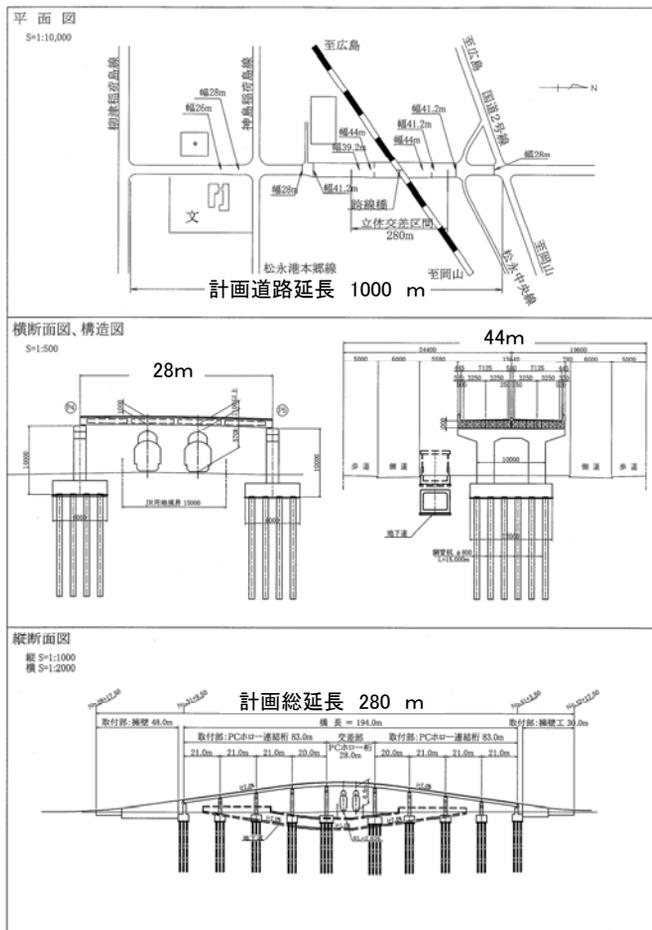
事業前は車道が2車線、歩道が狭小で、鉄道と平面交差している路線であったが、事業実施により、車道は4車線化し、鉄道と立体交差(オーバー)させ踏切を除却している。

また、歩道については鉄道の下に地下歩道とし、歩車分離を図っている。

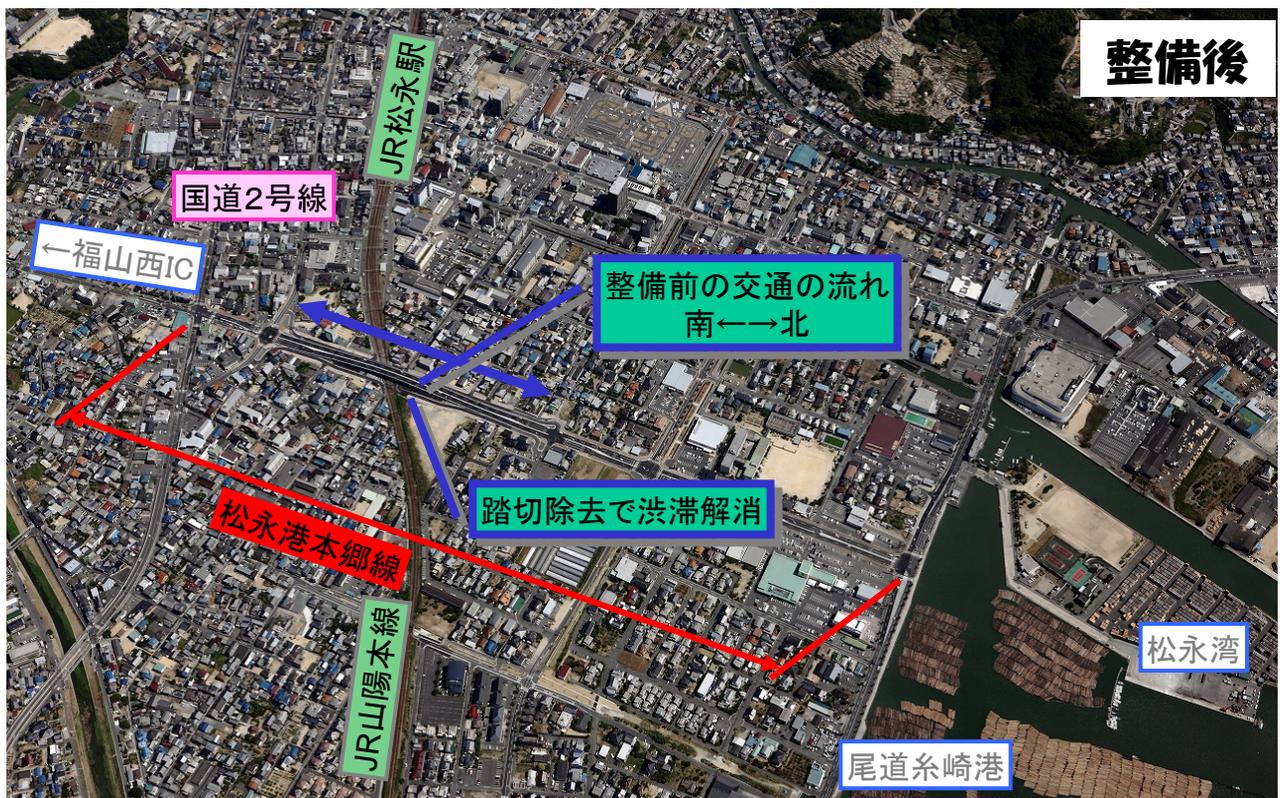
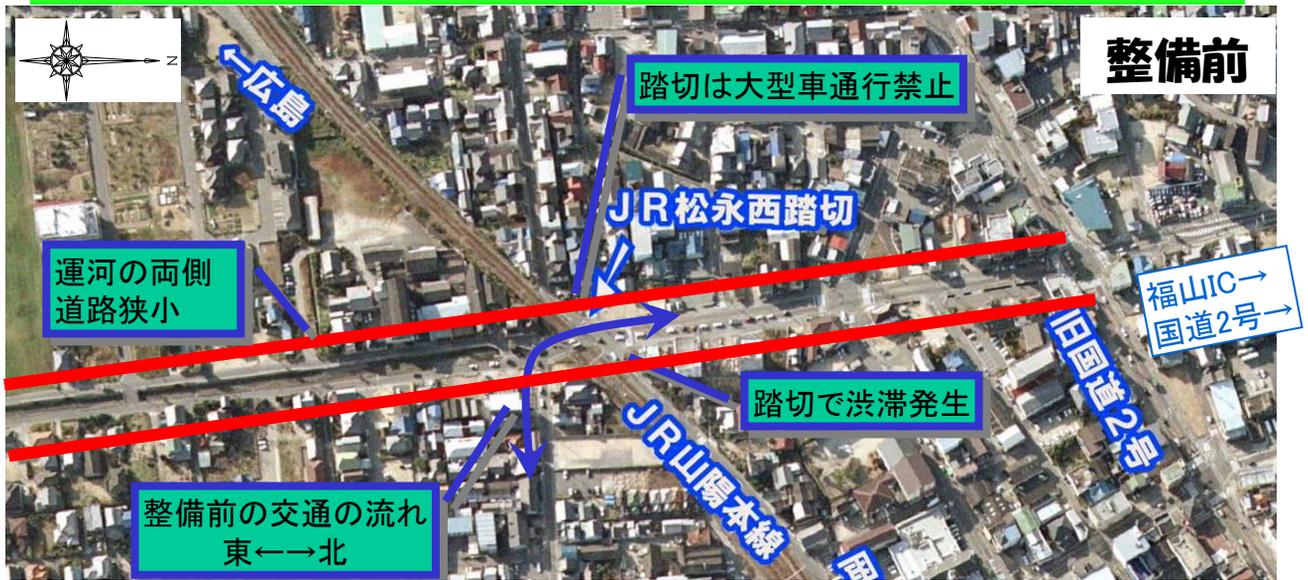
# 事業位置図



## 全体図(平面図・側面図・横断面図)



# 松永港本郷線の整備効果アピール資料



## 「整備効果」

- 大型車が通行不可能であったボトルネック踏切の解消により、JR山陽本線で南北に分断された地域内交通が円滑化された。(松永西踏切の交通量 約15,700台(改良前交通量 約11,600台))
- 踏切を完全に除却し、渋滞を解消したと同時に、歩車分離をすることで、通行の安全性が確保された。
- 街路整備されることにより沿道の利用環境が良くなり、多くの商業施設(薬局、コンビニ等)の立地を呼び込んだ。
- 山陽自動車道福山西ICから松永湾までの通過時間が大幅に短縮され、物流が効率化された。  
尾道糸崎港から国道2号線までの1kmの通過時間 約3分(改良前通過時間 約20分)

# 事業前写真

踏切部

平成7年撮影



運河部

踏切による渋滞状況



昭和56年撮影

平成7年撮影

# 事業後写真

鉄道高架部

平成22年10月撮影



地下歩道部

一般車道部



平成22年10月撮影

平成22年10月撮影